

3D PhotoScan System「MS-600N/PX」発売開始

～ フォトグラメトリー技術を応用し、写真画像から3Dデータを作成 ～

武藤工業株式会社

MUTOH ホールディングス傘下で、大判プリンタならびに3Dプリンタの開発・製造・販売を展開している武藤工業株式会社（本社：東京都世田谷区、社長：早川 信正、以下：武藤工業）は、高画像デジタルカメラで対象物の周辺を撮影し、フォトグラメトリー（写真測量）の技術を応用して撮影した写真画像から3Dデータを作成する3Dスキャナー「MS-600N/PX」を12月より受注を開始します。



今般発売を開始する「MS-600N/PX」は、弊社が開発した同時シャッターユニットで、撮影間隔や回数を任意に設定でき、回転速度が安定した回転テーブル（同梱）により、対象物を確実に撮影できるスキャナーユニットです。撮影に要する時間はわずか60秒。撮影範囲は100mm角～400mm角（標準仕様：カメラ2台）ですが、カメラを増設すれば、最大600mm角まで対応可能です。また、撮影に必要な照明やブルーバックカーテンも標準でパッケージ化されています。

スキャナーは主に工業用途で図面の無い実在するものを3Dデジタルデータとして取り込み、CAD化する事に活用されていますが、当該スキャナーの活用事例の一つとして、貴重な文化財や美術・工芸品などを3Dデジタルデータとして記録・保存する必要性が高まっています。また、そのデータを利用して復元部品を製作し修復したり、欠損部位を支える治具部品製作などに活用いただくことも可能です。

「MS-600N/PX」の標準本体価格は250万円（税別）。初年度は、20セットの販売を見込んでおります。

【 本製品に関するお問い合わせ 】

武藤工業株式会社

国内営業本部 営業推進部 第三営業推進課 光武（みつたけ）

電話 03-5431-5805

Yuusuke_Mitsutake@mutoh.co.jp

「MS-600N/PX」 主な仕様

測定方式	Structure from Motion 方式
スキャン時間	60Hz : 60 秒 / 50Hz : 75 秒
カメラ解像度	2400 万画素
対象ワークサイズ	100 mm角～400 mm角 (カメラを増設すると最大 600 mm角)
精度	スキャン対象物と比較して±0.2%
スキャナ外形寸法	W : 650×D : 300×H : 1,710 mm (キャスター部分含む)
スキャナ本体重量	約 40 kg (カメラ含ま)
回転テーブルサイズ	φ309×82 mm
回転テーブル耐荷重	最大 25
モデリングソフト	Agisoft 社 PhotoScan Professional 版
出力データ形式	OBJ,PLY,VRML,COLLADA,Universal
対応	Windows7,8,10 (64Bit)
推奨 PC 要件	<ul style="list-style-type: none"> ● CPU : Intel Core i7 CPU 以上 ● GPU : GeForce GTX1070 ● メモリ : 16GB 以上 (32GB 推奨)
電源	AC100V、5A以下 (モデリング用パソコン含まず)
付属	デジタルカメラ×2 (Nikon 製/PENTAX 製のいずれかを選択可)、 カメラ取り付けキット×1、SDHCカード (16GB) ×2、回転テーブル×1、 撮影照明キット×1、青色バックカーテン×1、 MUTOH ワークフローソフト & PhotoScan 用プラグインソフト

※Structure from Motion とは、あるシーンをカメラの視点を変えながら撮影した複数の画像から、そのシーンの 3 次元形状とカメラ位置を同時に復元する手法。

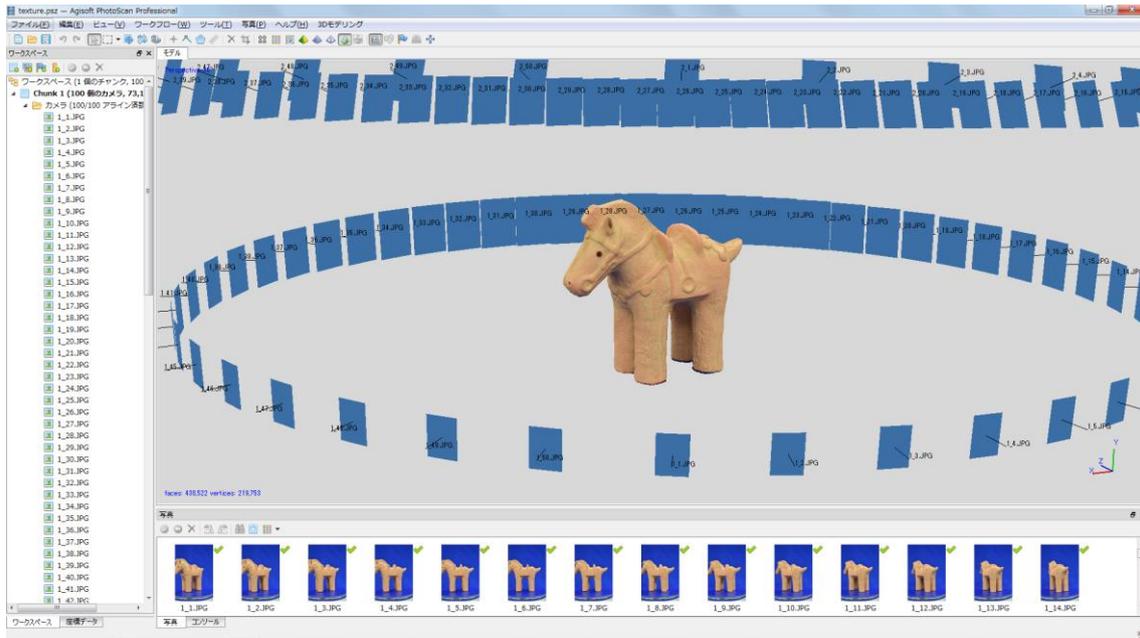
※白・黒の単色のもの、ディテールに特徴 (模様) のないもの。光を透過してしまう素材 (ペットボトルやガラス)、光沢のある素材や光を反射する素材 (鏡、クロームメッキ反射、金属、エナメル、革製品、バックル、アクセサリーなど) は、正しくスキャンできない場合があります。



▲操作パネル部



▲回転テーブルに乗った被写体



▲ 3Dモデリングデータ画像



▲ 撮影風景